

記者発表資料
平成25年11月14日
農林水産部農産園芸環境課
農産食糧班 高橋，横田（内線2841）
環境対策班 堀内，松原（内線2845）

平成25年産米(全量全袋検査区域：栗原市旧沢辺村)の放射性物質検査結果について(第7報)

平成25年産米（全量全袋検査区域）について放射性物質検査の測定結果が出ましたのでお知らせします。

全量全袋検査区域で生産された玄米は，検査の結果，基準値以下であることが確認されたものから，出荷・販売等が可能となります。

1 測定方法

ベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器によるスクリーニング検査
またはゲルマニウム半導体検出器による検査。

2 測定機関

宮城県（検査機器：ベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器）
株式会社理研分析センター（検査機器：ゲルマニウム半導体検出器）

3 測定年月日

平成25年11月2日～11月13日

4 測定結果

測定した1,904点全てが食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値(100Bq/kg)以下であり，安全性に問題がないことが確認されました。

5 検査状況

検査点数 【計画】	測定点数	検査結果		
		不検出 ～50Bq/kg以下	50Bq/kg超 ～100Bq/kg以下	100Bq/kg超
33,000	31,936 (1,904)	31,936 (1,904)	0	0

※（ ）の数値が今回公表分である。

※検査点数【計画】について，前回の公表までは30,600点と見込んでいたが，平年に比べて収量が増加したことにより33,000点に修正した。なお，今後，生産量が確定することで増減する可能性がある。